

# 文部科学省「研究大学強化促進事業」奈良先端科学技術大学院大学 ～奈良先端大 研究力強化システム改革～

平成25年度配分予定額：206百万円

奈良先端大のミッションの根幹は世界をリードする研究活動であり、研究力の更なる向上のために以下の点を特長とする研究力強化事業を推進する。

- ・若手の積極的な登用と学際・融合領域研究への組織的な取組により新たな研究領域を開拓する。
- ・研究活性の維持と研究の質の一層の底上げを図り、日本を代表する新たなトップ研究チームを育成する。
- ・国際的な頭脳循環を推進し、教員の自主的な研究力の向上、知の国際ネットワークの形成を支援する。
- ・海外に本学の研究拠点を整備するとともに、本学に海外の国際共同研究室を整備し、国際的ビジビリティを高める。
- ・加速度的に進化している先端機器の活用や高度化した実験材料の作製・維持という研究基盤を支える研究支援者による支援機能の高度化と若手研究者の研究力を向上させる。
- ・URAによるIR機能と研究支援機能の強化により研究システムを改革する。
- ・学長のリーダーシップの下、全研究科の責任者が参加する研究戦略機構を設置し、全学が一体となった事業推進体制を構築する。

# 本事業における新たな取組

## Bメニュー

(1) 新研究領域創出  
チャレンジプログラム  
世界に存在感のある研究領域  
を新たに作る

若手研究者発掘・育成プロジェクト

戦略的研究チーム強化プロジェクト

(2) サステイナブル研究力  
向上プログラム  
トップクラスの研究力を  
維持・強化する

国際的頭脳循環プロジェクト

先端研究手法導入支援プロジェクト

(3) 戦略的国際共同研究  
ネットワーク形成プログラム  
世界に研究力を可視化し  
国際的位置を向上させる

海外研究拠点整備プロジェクト

国際共同研究室整備プロジェクト

## Aメニュー



シニアURA

URA (University Research Administrator) 機能の強化  
世界トップクラスの研究をトータルで支援する体制を確立する



URA

## 研究力強化に向けた研究システムの改革

## 達成目標

### 研究成果発信の量的・質的強化

論文数の増加

トップ10%論文割合増加

科研費・受託研究費高獲得

国際共著論文割合増加

### 研究者の多様化・グローバル化

高い若手研究者比率

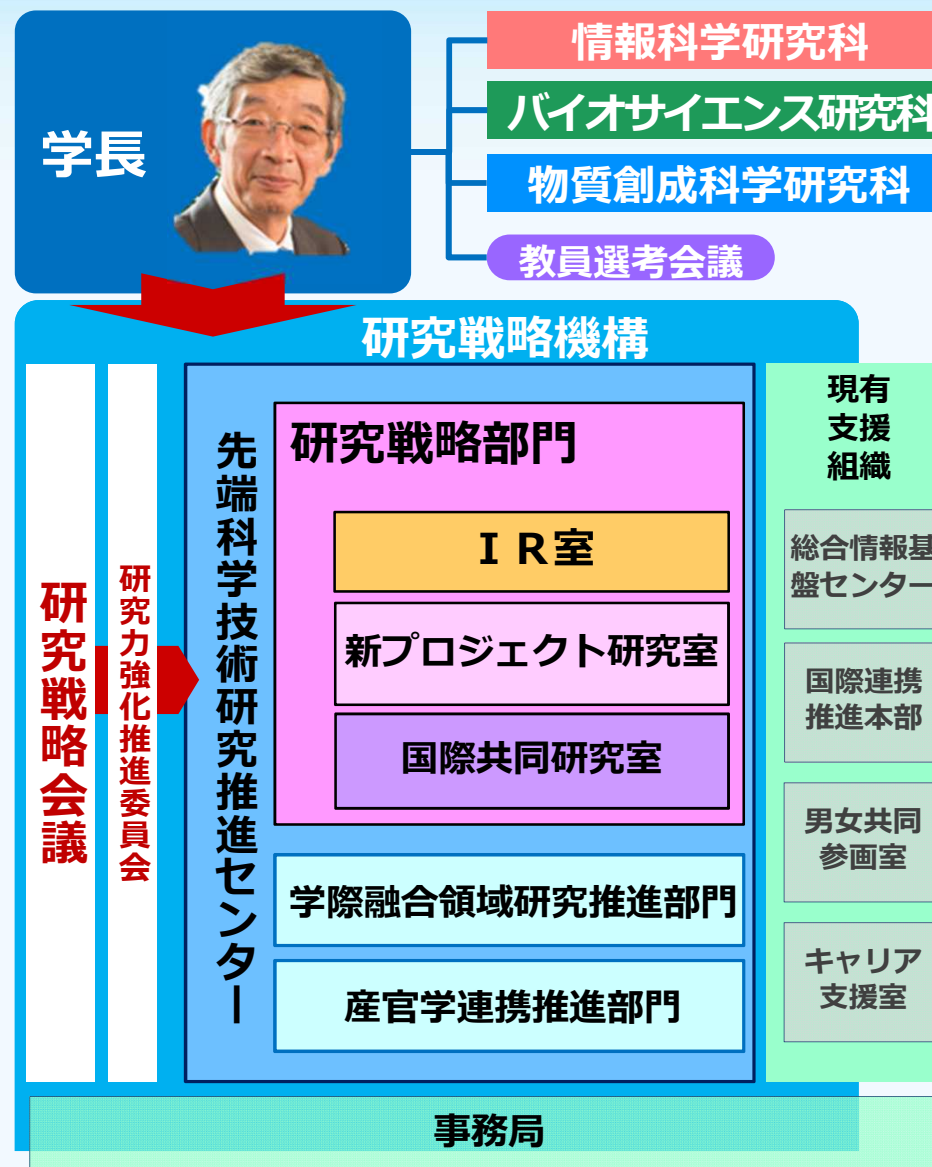
海外経験教員割合増加

女性・外国人教員割合増加

外国人留学生割合増加

# 学長のイニシアティブの下で本事業を推進

- 全学的組織として「**研究戦略機構**」を設置し、機構長は学長自らが就任
- 各組織の責任者が参加する「**研究戦略会議**」を設置し、大学内のあらゆるリソースを駆使し、各年度の事業実施計画を決定
- 推進センターの現調査研究部門を**研究戦略部門**に改組し、IR室、新プロジェクト研究室、国際共同研究室を設置  
将来的には、産官学連携推進部門を統合



# 世界に存在感のある研究教育拠点を目指して



## 世界トップレベルの

- クオリティ
- 先端性
- ビジビリティ

全教員が本研究力強化  
実現構想の理念・目標  
を共有し、研究力強化  
を推進



科学技術の発展と社会からのニーズの変化に応え、研究・教育を発展させていくために、現在の研究・教育組織の再編成、人的資源の再配置を視野に入れ、改革を推進